

2022年度特別回【冬】中学生向け

Kメソッド国語ゼミ 入試の変化は小論文にあり！！



夏にちょっと長めのお試し！1回では分からないKメソッド国語ゼミ講座を体験しませんか！

皆さん、当たり前ですが小論文は答えの丸暗記で解くこと書くことは出来ません！！ではどんな力が必要なのでしょう？

始めに読解力や記述力の向上には、物事を観察する力や分析する力を日頃から鍛え、その力を使ってじっくり考え、言葉にまとめて書き出すことが必要です。しかし実際には、入試直前や大学入試であればセンター試験終了から2次試験までの1か月ほどで、あわてて準備を行うケースが多いのではないのでしょうか。即効性を求めるあまり、テーマ別的小論文問題集などで人の答え（模範解答）を暗記し、他人の言葉で書く説得力のない小論文を書いてしまう。残念ながら、暗記の小論文では合格を勝ち取る事は難しいでしょう。

変化する大学受験に向け中学生の今だからこそ、イロハのイからの小論力をつける学習をしませんか。そして高校受験・大学受験に向けての、「読む力」「書く力」をつける方法を会得しましょう。

宙では日常生活の中で無理なくできる「意識で解く国語」の実践力を会得することを目標としています。

自分の意識をコントロールして授業や与えられた問題に「なぜ、そうなのか？」と論理的に考える習慣を身につけ、その都度意識を「集中」できるようになればみるみる総合的に「小論力」はアップします。

イ) 文章を読んで100～200字にまとめてみる。

課題文を読み思ったことや感じたことをまとめ、そのテーマについて100字から200字程度で意見をまとめる練習をしましょう。実は「100～200字」という制限字数の出題が、要約・論述ともに大学入試ではけっこう出題されます。多くの答案を短時間で正確に採点する際、出題の主旨を読み取れたかどうかすぐわかる、採点もしやすい文章量なのです。この「100～200字」のまとめに慣れることが、記述力アップのイロハのイといえるでしょう。

ロ) 小論文を書くうえで日常の体験やエピソードは【宝物】である。

小論文を、自分の体験を基に書くことは大切です。日常の体験をそのままにせず、学校行事や部活動におけるエピソードを体験のネタとして積極的に活用する方法です。自分が周りとどう関わったのか、自分はどうすればよかったのかなど、思考する癖をつけておくと、オリジナルの体験に基づく、ひと味違う小論文を書くことができます。ちょっと意識を変えることによって、平凡なはずの日常から、違った世界が見えてくるでしょう。

「Kメソッド国語ゼミ」は「意識」の集中訓練を通した「国語力」アップのメソッドです。これは、学年に関係なく「国語力」の発展段階に応じてステップアップするメソッドなのです。

★「Kメソッド国語ゼミ」中学生向け小論文講座コース（対象中学生以上） 18:35～19:25(授業) 19:30～20:20(演習)

2024年1/15(月).1/22(月)全2日 18:35-20:20 (50分×2コマ)

講座料：¥6,600円（税込） ※テキスト代込み

申し込み締め切り 12月18日（月）

●レチェックをし、下記の申込書にご記入の上

mailもしくは086-255-5402までFAX下さい。



朝日塾 SOLA

〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町
31-1-2 WITビル2F

TEL:086-255-5400 FAX:086-255-5402 mail:info@sola-e.net



切り取り

□ 2023年度 特別回【冬】講座 中学生Kメソッド国語ゼミに申し込みます。

フリガナ		フリガナ	
受講者名	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	保護者名	
学校名	中学校 年	生年月日 西暦	年 月 日生
住所	〒	TEL 携帯 mail	